

人間について考える事は地球全体のことを考える事

人間が誕生して200万年とも言われています。そもそも人間は一斉に多く誕生したのではないと思います。人間が誕生した当時、地球各地に少数の人間が存在したと考えられます。当時の人間の脳は今みたいに発達していたとは考えられません。多分イルカ位の知能の脳で有ったのではないかと思います。その脳が成長し色々な道具を駆使するようになり、火を使うようになり脳が凄く発達を遂げたのです。脳の発達が先々多くの幸せと不幸を生んだと私は思います。

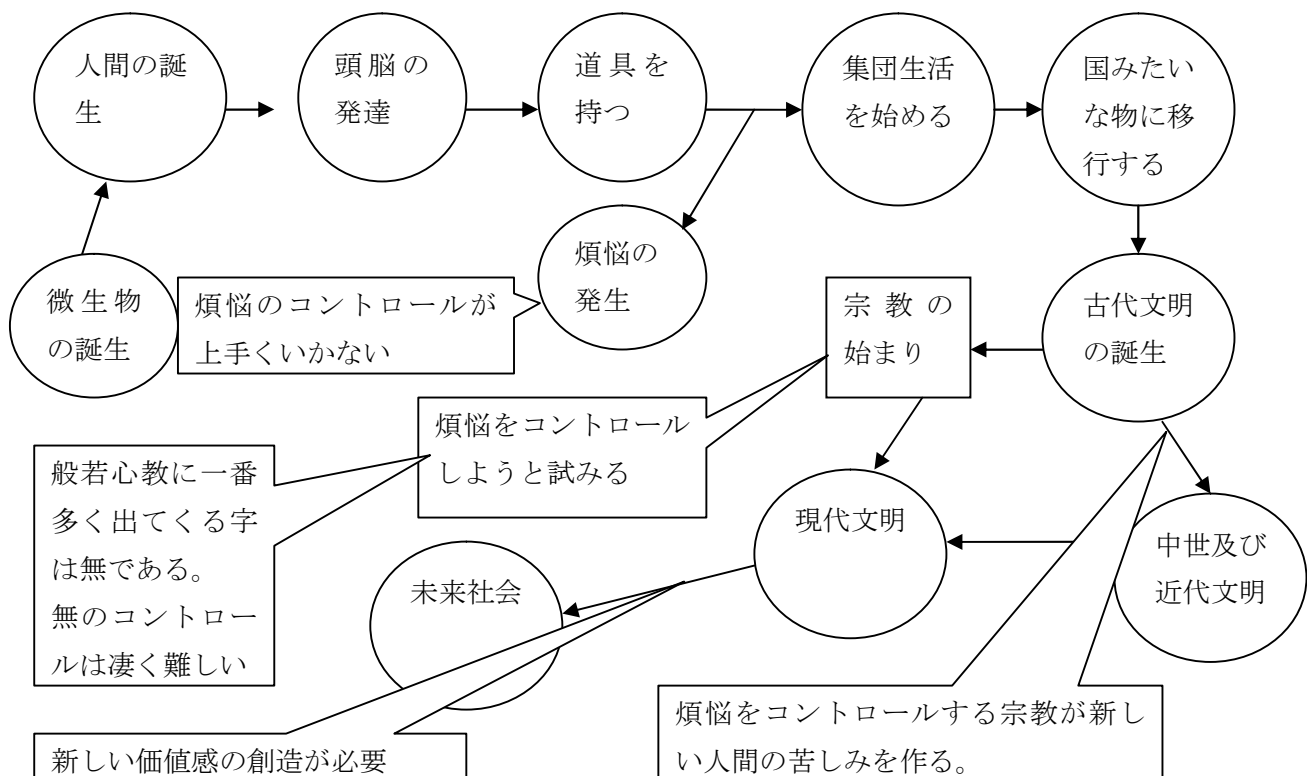
人間は動物界で唯一明日の事つまり将来のことを考える動物です。その将来のことを考える事がストレスを生じる事に繋がっていると脳科学者は言っていました。他の人間以外の野生動物は、お腹がすいた場合(ストレスを感じた時)、本能的に何かを食して満腹感を得ます。そして満腹になると何も考えないのです。

人間は他の野生動物とはそこが徹底的に違います。満腹になっても今度はこれが食べたいなと考えるのです。それがストレスに繋がるのです。

RAIBAL(ライバル)という言葉が有りますが、その語源はRIVER(リバー)だと言われています。つまり人間の脳が成長し経済が発展して民族同士の水の争いが生じたのだと聞いています。

最初人間はある程度の塊で生活していましたが、それが大勢で暮す方が得ではないかと考えたのです。それが国家の始まりだと聞いています。ばらばらの人間達を一つに纏め上げるのは決して容易では無かった事は昨年のNHKの大河ドラマ天地人でも表現されていました。日本人は太古の邪馬台国時代から江戸時代まで、人々全体の幸福を考えながら、統治システムを考えてきたのです。時代時代に合わせて統治システムを構築するのですが、世界情勢とか、国内情勢で同じ統治システムは長く続かなかったのです。汚職・怠慢等の人間が唯一持つ脳の仕組み(煩悩)が人間を守る統治システムの変更を余儀なく要求してきたのです。今の社会を構成するまで幾多の数えられない人々の命を葬ってきたのです。それは厳然たる事実です。

我々人間は多くの命を頂いて暮らせて頂いています。それは全ての生物のお陰です。その中に法律とか規制が存在しているのです。その制限措置は人間界だけの為には有るのではなく地球全体の為の制度でなくては行けないと私は思います。そうしない限り絶対に無くならない人間が唯一持つ煩悩をコントロール出来ないと思います。その為に人間界に存在するのが宗教です。この宗教と言う仕組みで人間の煩悩をコントロールしようとしているのです。我々は如何に上手く煩悩をコントロール出来るかに生存が掛かっているように思えます。その一つが地球人全体の象徴的目標で有る地球環境対策ではないかと私は思います。



いらっしやいませ

下記の写真は昨年(2019年)の11月3日に木材好きの方々が11人ほど集まって服部商店に来ていただいた写真です。この日は文化の日で本来は休日でしたが、仕事が忙しい為に、日を振り替えて仕事をしていました。

そんな折に私の知り合いの紹介で木の好きな仲間(服部商店さん)に来たいのですが10月31日の土曜日は如何ですかと連絡が有りました。私は11月2日に先月北海道で買い付けした北海道産広葉樹原木(カツラ・ホオ・シナ・アサダ・ザツカバ・ナラ・アズキナシ)が入荷するので、製材も見られるから文化の日の11月3日にしてくれたら、とお答えしました。

そして急遽予定を変更してシナ原木の製材を見ていただく事にしました。今まで催した勉強会と言うスタイルは取らず、有りのままの服部商店の製材の姿を見ていただく事にしました。勉強会なら質問等を承ってお答えするのですが、現実に仕事をしている姿を見て頂きました。



写真で解かる様に女性の方もいらっしやいまして、製材とは『原木の生まれから育ちまでの過程を想像しながら、原木の外観に残されたヒントを瞬間的に判断し鋸を入れる場所を決めます。其の時に考える事は絶対に自然の恵みで有る木に逆らわない方法を取り優しく製材します』と申しました。この事が直ぐ解かる様に思えませんが、何となく理解してくれたと思います。

材木屋は何回も新聞で書いていますが、木材の目利き屋なのです。この目利き屋技術は極当たり前の事なのです。この当たり前の技術が今の世の中で必要かどうか問われているのだと思います。私は必要な技術だと思っていますが、最初の記事の中に有る煩惱ではないかと思う事も有ります。

ところで般若心教に出てくる言葉で一番多い字は無と言う文字です。人間と言う動物は煩惱が有る為に中々無と言う心境になりませんが、意識せずに無を感じる時が有ります。それが無我夢中です。

無我夢中になる事はたまにしか有りません。趣味で海の中を友人と潜っている時です。何も考えずひたすら海の中を潜るルールを無意識の上で行動します。インストラクター・友人とア・ウンの呼吸で潜らなかつたら、直ぐ死に結びつきます。

遊びではなく仕事では中々無にはなれません。なるとすれば原木を買い付け時に原木を見る時、製材する時に原木の本木(ほんき)を見るとき位です。それ以外は邪心がどうしても入ります。

木材のバカの服部雅章ですが、それで良ければ勉強会スタイルではなく、前もって仰って頂ければ有りのままの服部商店をお見せします。

絶対的木材資源不足の中の木材動向

昨年から続いている住宅市場の冷え込みは簡単に納まるとは全く思えません。と言うのは人口減少社会と高齢化、そして顕在化している子供達の貧困（7人に1人が貧困と言われている）等昨年一年間起こった犯罪等も含めて、各種発表されているデータを見て、よくよく考えて見ると、絶対的な需要不足が凄く顕著な訳です。そして需要は回復しても昔みたいに絶対的な需要は戻らないのです。身の回りを見渡してみると日本中は何もかも有るのです。無いとすればそれは多分物質的な満足を得る物ではなく、心の満足感を得る物がないことではと私は思います。心の満足感と材木屋が言えば、それは煩惱から出た発言だと捉えかねないと思われませんが、決してそうでは有りません。文明が幾ら進歩して快樂な生活を楽しめる世の中になったとしても、人間の作ったコンクリート・プラスチックでは決して人間の欲しがっている癒し・安らぎは決して得られないと思います。我々が唯一心から満足感・癒しを得られる物は自然から与えられた自然物だと思います。

日本国内の需要動向劇的な変化『無垢材が見直される世の中にチェンジする事』はまずないでしょう。多分益々工業化された物が身の回りの多くの部分を占めるでしょう。

そんな中、外国の諸国は全然違う動きをしてくると思います。中国・インド・ブラジル・ロシアだけではなく他の開発途上国も多くの資源を必要とってきます。つまり絶対的に天然資源は供給不足になる可能性が高まってきているのです。木材資源も同じです。

ところで私達日本人は長い期間に渡って森林に対する思いが凄く関心が浅かったように思えてならないのです。と言うのは、国は日本には山が多く有る森林の国だから、国内の全体の森林は、凄く多くの価値を持っているような錯覚を私達に与えていないでしょうか。しかしそうでは無いのです。服部新聞で何度もこの事は書きましたが、スギ・ヒノキの小径木を除くとそんなに多くの優良材が有るのではないのです。その証拠が凄く顕著に現れたのが昨年10月から始まった北海道の広葉樹原木の状況です。

コード	樹種名	はい数	本数	材積
1	タモ	152	225	156.184
2	マカバ	7	7	2.962
3	セシ	209	284	123.470
4	ナラ	235	372	173.405
5	ニレ	16	30	12.649
6	キハダ	15	19	7.074
7	イチイ	11	11	1.540
8	クルミ	26	73	19.928
9	アサダ	6	12	2.845
10	ホホ	63	162	31.764
11	エンジュ	20	24	2.188
12	カツラ	49	78	42.691
13	ザツカバ	123	211	86.636
14	シユリ	9	22	7.449
15	イタヤ	48	85	24.458
16	サクラ	6	6	1.721
17	シナ	35	51	20.365
21	ハシ	2	5	1.422
22	メジロカバ	220	389	118.132
23	クリ	1	1	0.426
31	コブシ	1	1	0.216
41	カラマツ	2	2	1.263
単種計		1,256	2,070	838.788
ロット種				
ロット種計		3	154	17.237
合計		1,259	2,224	856.025

コード	樹種名	はい数	本数	材積
1	タモ	287	420	415.316
2	マカバ	30	43	21.994
3	セシ	199	300	161.680
4	ナラ	386	780	429.787
5	ニレ	17	22	11.121
6	キハダ	6	9	2.950
7	イチイ	61	80	4.074
8	クルミ	13	23	8.964
9	アサダ	28	57	19.926
10	ホホ	73	305	61.510
11	エンジュ	24	117	5.414
12	カツラ	52	66	55.466
13	ザツカバ	77	213	65.563
14	シユリ	8	18	5.990
15	イタヤ	101	325	84.831
16	サクラ	15	23	6.511
17	シナ	49	117	39.579
19	ドロノキ	1	3	1.618
20	シラカバ	4	29	4.173
21	ハシ	6	25	5.370
22	メジロカバ	208	905	178.524
23	クリ	3	4	1.949
24	ヤナギ	1	1	0.205
28	アオダモ	1	3	0.270
31	コブシ	3	8	1.761
33	ウォールナット	14	14	18.453
38	その他	8	12	14.442
39	アカエゾマツ	1	1	0.584
47	キハダ類シユリ	1	1	0.577
48	ホホ類クルミ	2	5	1.292
単種計		1,679	3,929	1,610.894
ロット種				
ロット種計		16	872	139.731
合計		1,695	4,801	1,750.625

上記の左記の書類は今年2009年の11月に開催された北海道旭川の銘木市の広葉樹原木の出品数量です。全体の数量は約850M3です。右記の書類は2008年11月に開催された旭川の銘木市の広葉樹原木の出品数量です。全体で約1750M3です。見ていただければ解る様に半減しているのが解ると思います。この数字は日

本人が正しく森林を見つめてこなかった証拠なのです。優良な天然林を伐採し、価値の低い人工林のスギ・ヒノキ・マツだけを植林した結果なのです。広葉樹は針葉樹と違い成長していくためには約3倍から4倍の年月が必要です。長い時間が必要と言う事実を国は知っていたのに拘わらず放置してきたのです。成長の早い針葉樹に偏った林業政策を行ってきたのです。これがツケとなり優良な木材資源を生まない森林になり下がったのです。

ところで北海道の広葉樹伐採量といましようか、生産可能な量といましようか、限りなく少なくなってきましたが、先々決して無くなりません。現在の北海道の森林は夏場に積極的な将来の混合林を目指して植林が行なわれています。時間は多少掛かるかも知れませんが将来の若い人の為の政策は実施されています。

我々雑木屋はこれから先に成長してくる広葉樹資源を如何に上手くどうしたらエンドユーザーのお客様に日本の優良材の広葉樹の良さを伝えられるのかを考え真摯に考え実行していくことこそが私達に与えられた題名だと考えています。

ここで日本産の木材の話ばかりしていると、国内の木材資源が少なくなったら海外の木材にたよればと思われ方もいるかも知れませんが、外国産の木材の価格決定権が日本に無くなった事は事実です。一昨年アラスカ産原木の対日向け輸出が全体の約50%を少し切ったと服部新聞に書きましたが、昨年は50%をはるかに割り込んでいます。アラスカの業者は、日本が買わなかったら中国等の発展途上国に売れば良いと言うのが方針です。それはアラスカ産の木材に限ったことでは有りません。南洋材の輸出国マレーシア・インドネシアも対日本向け以外の輸出が50%を超えるようになったと聞いております。その証拠に少し変わったサイズの木材が必要となった時、いざ探したら無いのです。

世界中で一番品質にうるさい日本人ですが、案外買い付け価格を出さない傾向が顕著に現れ資源輸出国も対日本向けのメリットが無くなって来ているのです。

これからは、我々木材に携わっている者全員が今までと違う価格と言う表示では現せない価値を木材に見出していくのが必要になってこざるを得ないと私は思います。

平成22年への思い

私は平成1年10月に妻和子と結婚しました。子供は平成2年12月に第一子の長男が誕生し平成4年2月に第二子の長女が誕生し平成12年8月に第三子の次男が誕生しました。今年は長男が二十歳になり、長女は四月に大学生になり、次男は四月に小学校4年生になります。三人の子供の誕生の間に平成6年祖母が亡くなり、父も平成15年に亡くなりました。父と生存中に起こした数えられない喧嘩は今の服部雅章を構成する一つの要素になっている事は事実です。私と多くの喧嘩をする父では有りましたが晩年、般若心教を暇なとき毎日写経をしていたことを思い出します。そして私に『無』の事を盛んに言っていました。父は相手の話を自分の考えを出さず無の境地になって聞く事が大事だと、何かの出来事が起こる度に口うるさいほど私に言っていました。それを思い出して平成22年度にいかそうと思います。

子供達も大きくなってきているので色んな事がこれから起こってくる事は当然有ります。長男の場合彼女の事とか、色んな事が起こってくるでしょう。長女の場合は彼氏の問題は確実に起こってくるでしょう。次男の場合は反抗期になってもおかしくない年なので色んな問題が起こってくるでしょう。仕事の環境もガラッと劇的に変化するかも知れません。その時起こってくる事をくよくよ考えるのではなく、無の境地で何もかもに対処する心を少しでも向上させる事を今年の目標にしたいと思っていますが私の性格上簡単にはいかないでしょう。

それで今年の目標は、直ぐに無の心境の時間を多く取る事は正直無理だと思うので、出来る事を考えました。それが無我夢中になる機会を出来るだけ多くしたいと思った事です。無我夢中で取り組むのと邪心が有って物事に取り組むのとは大きく違いが有る様に思えるのです。昨年芦屋の建築士の庄司さんから依頼を受けてさせて頂いた講演は無我夢中で行いました。余計な物は何も考えずに出来ました。こう言う事を一年間に何度も行なえば少しは無の境地に近づくのではと思っています。遊びだったら出来る無我夢中をそれ以外の日常の仕事でも実行できたならあらゆる物が今までと違うように見えてくることでしょう。そうすれば少しでも世の中に役に立つ人間になれる様に思えるので努力したいと思います。

展示即売会開催のお知らせ

F A X 0 7 2 - 4 2 2 - 8 5 7 7



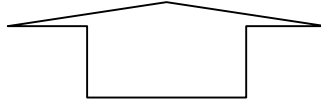
2010年1月17日(AM:900~PM4:00)に展示即売会を開催します。当日来社されて決済していただける方に服部商店のホームページ(<http://www.hattoriwood.co.jp/>)に掲載しています**全商品をその日限り20%オフ**の大サービスです。**当日来店できる方はこのチラシをお持ち下さい。**

服部商店展示即売会場です。



会社名	
担当者名	
〒	
ご住所	
電話番号及び ファックス番号	

FAX 072-422-8577



- * 展示即売会の遠方の方及び当日来店が出来ないための方の専用用紙です。
- * 引き合いが有る。是非写真を送って欲しい
- * 例として 広葉樹の小売りの所のタモの場合 T-4 ￥72,000
- * 写真の必要な方の申し込み期日は2010年1月14日とします。

お引き合い物件 の例	タモ両耳付き板 T-4 2600 55 680 72000円→57,600円 写真を裏表四枚送って欲しい
お引き合い物件	
お引き合い物件	
お引き合い物件	
会社名	
担当者名	
ご住所	
電話番号	
ファックス番号	
メールアドレス	
その他ご希望事項	

〒 596-0011 大阪府岸和田市木材町 16-1

(株) 服部商店

服部雅章

電話 072-438-0173

謹賀新年2010年



北川 インフルエンザと不況に負けずに頑張っています。

小西 去年初孫が産まれました。とてもかわいい女の子です。

熊代 2児の11010です。家の中は猿のお山です。

栢原 おいしいお茶を用意し、皆様のご来店をお待ちしております。

上野 共存共栄をめざして本年も引き続きお世話になります様、宜しく願い申し上げます。

南方 木のぬくもりを見に来てください。

服部 一年が無事過ごせる様を願い致します。